

● AI@Work 2023 Kick off ●

2023/1/17 (火)

19:00 - 20:00 2022 Retrospective & 2023 Planning

AI@Work 全体

AI@Work WG1

AI@Work WG2

AI@Work WG3

AI@Work代表および各WGリーダー 各15分

・ 2022年の活動成果のふりかえり

・ 2023年の活動計画の紹介



AI@Work Web page

20:00 - 20:30 AI@Work WG1 研究成果発表

Our challenge - How to Realize Value in AI Implementation Projects -

(邦題：私たちの挑戦 ～AI導入プロジェクトの価値をいかに実現するか～)

AI@Work WG1 PM4AI/AIプロジェクトの進め方 研究グループ 小林 功

20:30 - 20:55 AI@Work WG2 研究成果発表

プロジェクトマネジメントにおけるAIレベル定義と 将来像

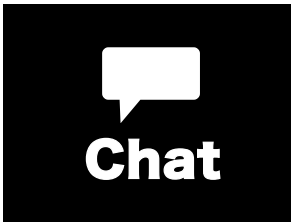
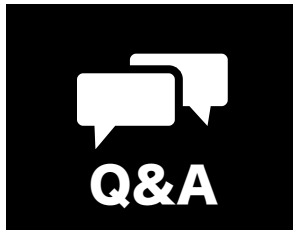
AI@Work WG2 Sub-A AIレベル定義検討グループ 今井景子

20:55 - 21:00 Closing

21:00 - AUA (Ask Us Anything)



ご案内とお願い



AI@Work Webページに活動状況・成果物を掲載、ご活用ください

- ・招待講演は著作権の点より資料掲示なしにてご了承ください

ご質問はeventosライブアンケートへ、講演中も入力ください

- ・他質問への「いいね 👍」で優先順位がアップ

気づきや感想、参考情報などもeventosライブアンケートへ

- ・みんなで共有・共感、役立つ情報を分け合う機会に

Ask Us Anything（任意参加）で何なりとお聞かせください



- ・講演内容へのご質問、予定調和なしのパネルディスカッションも？

アンケートにご協力を！AI@Workへの参加申込もこちらから！


- ・eventos 最下部にリンク有、ご意見ご感想をお待ちしております！


講師への質問について(Q & A)



- 映像画面右下の  (アイコン) をクリックすると映像画面が全面に広がり質問投稿画面が消えます。再度  をクリックすると元の画面に戻ります。

- 講師への質問等は、映像画面の右横にある質問投稿ボックスに送信してください。

 鉛筆のアイコン) をクリックするとコメントボックスが開きます。

- 同意見の質問があった場合には「いいね 」をクリックしてください。
質問多数の場合、「いいね」の数を参考に読み上げます。

- **どの講師への質問かが分かるよう、質問の先頭に講師名を記入してください。**



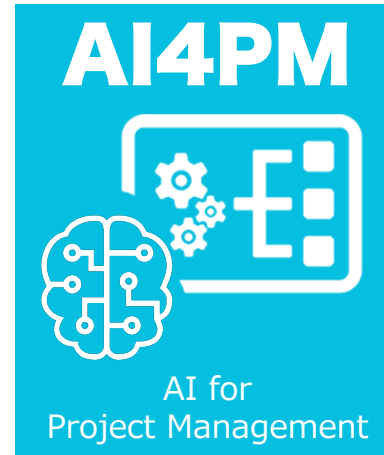
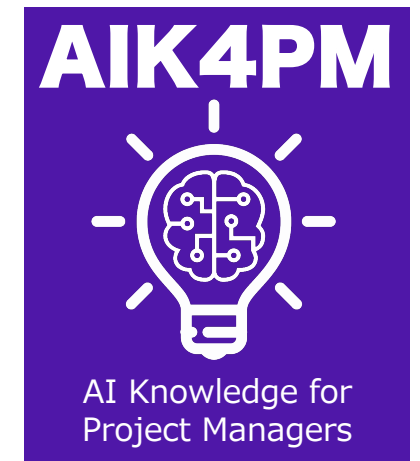
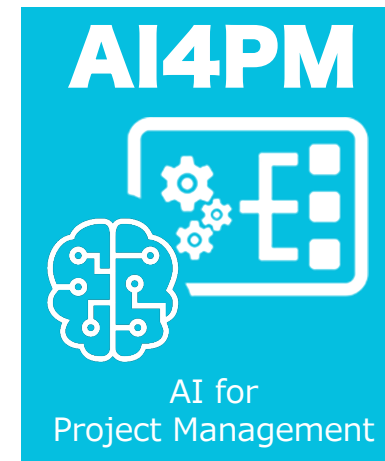
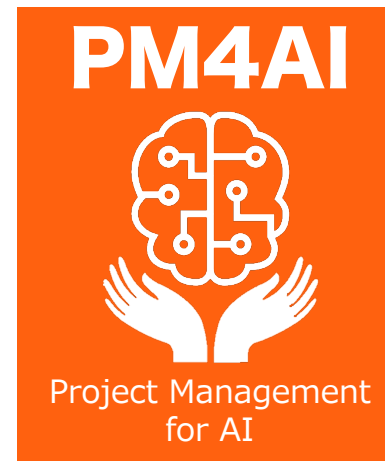
AI@Work 2023 Kick off

2022 Retrospective & 2023 Planning

2023年1月17日

AI@Work, PMI Japan

代表 武上弥尋・渡邊恒文



AI@Work 概要

新設発表 (2019年12月3日) 始動 (2020年1月31日)



AIの適用・活用をプロジェクトマネジメントの視点で捉え、あるべき姿や進め方を探求する
 新たな研究グループAI@Workを設立いたします。

目的 (Purpose)	社会や経済に新たな影響力をもつAI、その適用・活用をプロジェクトマネジメントの視点で捉え、あるべき姿や進め方を探究・共有する
役割 (Mission)	世界レベルでAIの活用が進む中、プロジェクトマネジメントの観点から、日本のAI適用・活用の加速を図る
めざす姿 (Vision)	AI適用・活用プロジェクトに関わる多様な方々と、AI利活用でのプロジェクトマネジメントのあり方や、それら知見の活用・有用性を共有し、PMコミュニティを通じた醸成・発展に努める
戦略と 主要活動 (Strategy & Main Action)	<p>Making Opportunity: 研究・理解・共有の機会づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Case Study (ユースケースや進め方の探究) 2. Understanding of Technologies (AI技術の理解深耕) 3. Sharing Knowledge (各種の発信と情報共有)
基本事項 (Concept)	<p>Small Start (小さく始め大きく育てる)</p> <p>Sharing (知見の持ち寄り、情報共有・発信に努める)</p> <p>Speciality (専門力を強化する)</p>

2020 Kick off 129名
 Conference#1 102名

2021
 Conference#2 331名
 SME Discussion #1 221名
 Conference#3 184名
 SME Discussion #2 149名

成果物公開

第3回 AI@Work Conference
 AI×IoT×PMの実践
The AIoT Playbook
 概要
 2021年11月13日
 誌上 登壇 PMJ, CSM
 AI@Work Study Group 代表
 PMJ日本支部



AI@Work – 2022年 主要な成果 (as of 2023/1/17)

コミュニティ制度への移行、Kick off+対外発信6回(Conference, Forum×4, SME Discussion)、メンバーは187名に

Big is great

“AI”として扱われる領域は多岐
大人数だからこそできることもある

13テーマ **45**チャンネル

メンバー 2020:125名 → **187**名

Anywhere

Slack+Web会議、Slackアプリ連携で
情報共有もさらに強化

場所制約の解放+時間の有効活用
COVID-19下でも活動拡大中

Active members **60~80**
(by Slack Analytics)

Virtual/Open Collaboration

Slack+boxの活用で成果物の効果的共有
とセキュリティの両面を強化

Messages sent
累計 2020: 4,008 → **12,750**

Diversity

多様な実務経験・世代・立場・役割
(ユーザー企業・ITベンダー・AIベンチャー etc.)

多様な視点をもたらす新たな気づき

User **33%** IT **53%**

New Generation

Digital Native世代との協業
PPPM, PMI会員 以外の参加

Non-PMIJ member
2020: 32% → **37%**

Asset & Skill

PMIJ Forum JDLA G検定合格

4枠 (2020:2枠) **5**名 (累計14名)

DS検定合格 対外発信 参加総数

4名 **996**名 (6回総計)

AI@Work – 2022年 主要な発信 (as of 2023/1/17)

昨年来Conferenceの再演要望が多いため、フォーラムにてベスト講演として再演を試行、高評価

AI@Work Conference (第4回: 3/26)

- ・招待講演「DX時代におけるAI社会実装」

浦川伸一 氏 損害保険ジャパン株式会社 取締役専務執行役員、SOMPOシステムズ株式会社 取締役会長

- ・「Why PMI? Why AI@Work? “自ら学ぶ”で獲得する新たな機会と成長 (AI@Work Community移行)」

武上 弥尋 AI@Work 代表 日本アイ・ビー・エム株式会社 Data Science & AI Services Certified Executive Project Manager

- ・「AI@Work WG1/WG2/WG3 2022年の活動計画と体制」

AI@Work WG1 PM4AI Leader 岡元大輔 / WG2 AI4PM Leader 栗野哲兵 / WG3 AIK4PM Leader 掛札雄也

参加者 **225**名

AI@Work SME Discussion (第3回: 12/3)

- ・招待講演「失敗事例から見た、DX成功の勘所～10年以上のビックデータ・AI・DX導入で見えてきたDXの料理法～」参加者 **150**名

遠藤国枝 氏 AI Inside 株式会社 Strategic Consulting Unit DXビジネスプロデューサー

PMI日本フォーラム2022 (7/9-31) AI@Work Study Group 講演

- ・AI@Work Conference ベスト外部講演「DX時代におけるAI社会実装」

浦川伸一 氏 損害保険ジャパン株式会社 取締役専務執行役員、SOMPOシステムズ株式会社 取締役会長

武上 弥尋 AI@Work 代表 / 渡邊恒文 AI@Work 副代表

- ・AIでの“好循環”を創る ～魔法の杖から価値創出の道具へ

武上 弥尋 AI@Work 代表 / 渡邊恒文 AI@Work 副代表

- ・AIのナレッジを身に付ける最初の一步 ～得たものとプロジェクトマネジメントへの活用～

掛札 雄也 AI@Work WG3リーダー JR東日本メカトロニクス (株) チーフ

根元 侯作 日本アイ・ビー・エム (株) / 有馬 裕輔 ギークプラス

- ・AI導入プロジェクトをどう立ち上げるか? ～価値の実現と品質管理のポイント～

小林 功 enFaith合同会社 代表社員 / 佐藤 朋信 (株) 日立ICTビジネスサービス

参加者合計 **621**名

AI@Work

AIK4PM (WG3)

PM4AI (WG1)

AI@Work - Slack利用状況 (as of 2023/1/17)

Slack×box×Web会議：アクティブメンバーは継続的に常時60~80名/週、メッセージ数も1万件を突破

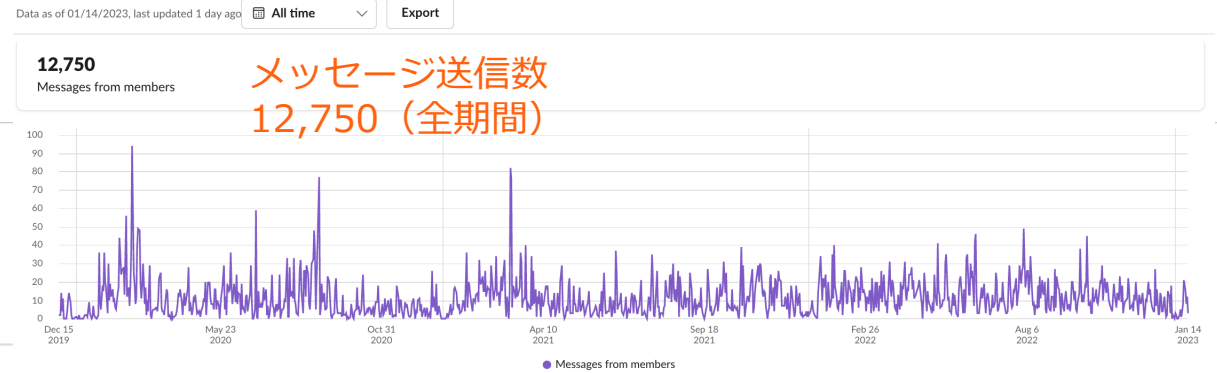
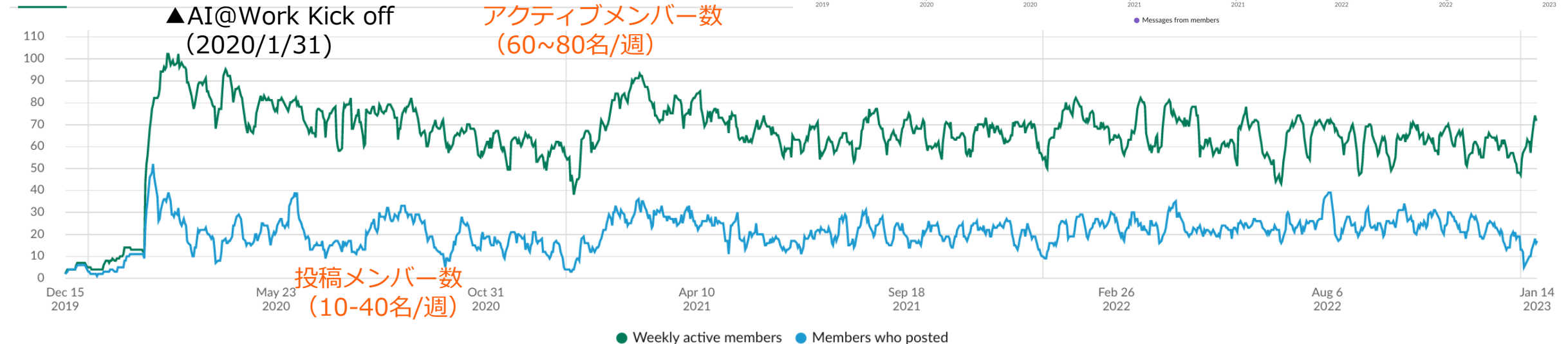
- TechsoupでのPMIJ非営利団体承認により、Slack Pro Planが250名まで無料で使用可能に
- 9/1からのSlack制度変更による「メッセージ表示の直近90日間制約」は、活動履歴が参照できない等により、活動の直接阻害や長期的な悪影響も懸念されてきたが、Slack Pro Planへの移行により10/8に解除

オープンで闊達、場所や時間に制約されない、柔軟かつ実のある活動を推進中

Active members in your organization アクティブメンバー数 (全期間*)

See how many people are active — meaning they posted a message or read at least one channel or direct message.

Weekly Daily



各WG 2022年研究テーマ実績

2021年の成果を踏まえた発展 および 新テーマの設定、PMIJ Forumでの発信



5

5つのサブグループで研究を継続

AI Project Playbook および
AIPMBOK を編纂中

(太字はPMIJ Forum 2022での講演テーマ)

D0: **AIプロジェクトの進め方**

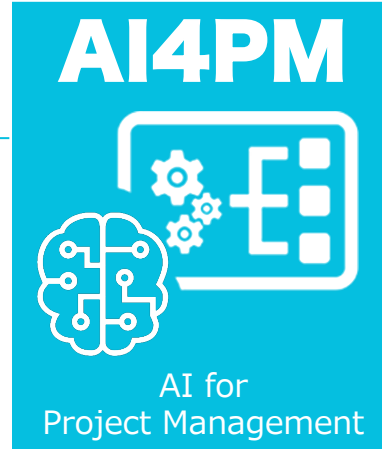
D1: 実用化～実用化後の課題

D3: AIプロジェクト特有のリスク

D4: **機械学習の品質マネジメント**

E5: AIPMBOK

(AIプロジェクト知識の体系化)



4

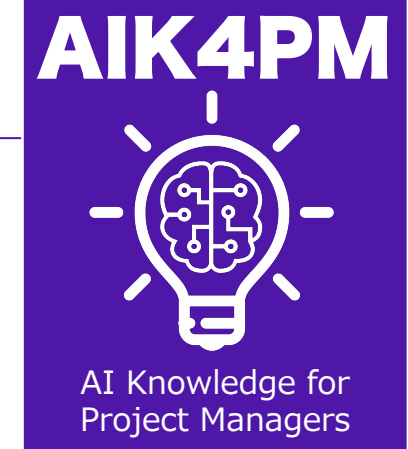
4つのサブグループに分かれて活動

A: PMBOKの10つの知識領域に
関するAIレベル定義の認知向上
(活動成果の対外発信準備)

B: ツール調査(休止し、Dと融合)

C: 「人材、組織、PMO」に対する
検討

D: 10の領域に対しAI実用要件抽
出フレームワークの試行と、ワ
イガヤ・ツール調査活動



4

活動の柱を4項目に拡大

1. 輪講

- AI for Everyone受講

- 『ディープラーニングAIはどのように
学習し、推論しているのか』

2. Deep Learning G検定 勉強会

2022年 5名合格

3. DS検定 勉強会

2022年 4名合格

4. AI実践

経産省AI Quest活用、グループワーク中

AI@Work - 2023 Master Schedule (as of 2023/1/17)

Conference/SME Discussion/PMIJ Forumでの対外発信や成果共有

